

瓜連支所利活用ワークショップ（第2回）

資 料

～本日の予定～

項 目	時 間	内 容
オリエンテーション	5 分	<input type="checkbox"/> 開会・挨拶
ワークショップ	15 分	<input type="checkbox"/> 第1回ワークショップの振り返り
	10 分	<input type="checkbox"/> 第2回ワークショップの説明
	70 分	<input type="checkbox"/> グループワーク ①アイスブレイク ②役割決め（発表者、進行、書記、質問者） ③グループワーク <input type="checkbox"/> 事業者からの意見の共有 <input type="checkbox"/> 地域の賑わい創出に向けた利活用の目的 ④まとめ
共有(発表)	35 分	<input type="checkbox"/> 各グループ作業結果を発表+質疑
講 評	5 分	<input type="checkbox"/> 発表された内容についての講評

令和7年11月29日

I 瓜連支所利活用ワークショップについて

1. 第2回ワークショップの内容

第2回瓜連支所利活用ワークショップでは、第1回ワークショップでの意見とヒアリング結果を共有し、瓜連支所の利活用の可能性や方向性についての意見交換を行います。

回数	時期	テーマ	内 容
第1回	9月	キックオフミーティング、現地を知ろう	○瓜連支所の現状についての共有（現地視察） ○瓜連支所の状況についての意見交換（ワークシート作業）
第2回	11月	未来の可能性、できることを考える	○利活用の可能性や方向性についての意見交換（ワークシート作業）
第3回	2月	未来のビジョンをつくってみよう	○利活用のビジョンやゾーニングについての意見集約（ワークシート作業）

2. 第1回ワークショップの振り返りと事業者に対するヒアリング結果（報告）

○第1回ワークショップの結果については、別添資料1のように整理しましたので、ご確認ください。

○瓜連支所の利活用について、民間事業者に対するヒアリングを実施しました。別添資料2でその結果について整理しています。

II ワークショップ

1. 第2回のテーマ

第2回は、「未来の可能性、できることを考える」というテーマで開催します。

第1回ワークショップでの意見や、事業者からみた瓜連支所について意見を共有しながら、利活用の可能性や方向性について検討します。

グループワークのテーマ	視 点
事業者からの意見の共有	「立地や周辺環境」「建物や敷地」「民間利用の可能性・条件」の項目に対して ① 「なるほど」と思ったこと ② 「課題だな」と思ったこと の意見を共有する
地域の賑わい創出に向けた利活用の目的	賑わい創出に向けた利活用の「目的」「アイデア」を考える

2. グループワーク

(1) グループ分け

第1回の年齢別を基本とした4グループ

(2) グループワークの進め方

○本日のグループワークは、次のような流れを目安に進めてください。

①自己紹介・役割決め

○一人ずつ自己紹介(お名前・年齢・職業など)してください。

○グループで作業を進めるため、①進行 ②書記 ③発表者 ④質疑者を決めてください。

②グループワーク

○進行役が、各テーマについての意見交換を進めてください。

【意見の出し方・まとめ方】

○意見については、付箋を用意してありますので、次のような手順で作業を行ってください。

■手順1 テーマについて自分の意見を付箋に記入してください。

■手順2 テーマについて、手順1の意見を発表しながら、付箋をシートに貼り付けてください。

他の人の意見を聞いて、同じ意見だった場合は、自身の付箋も貼ってください。

■手順3 手順2でまとめた「似ている意見」のポイントをまとめてください。

※書記の方が、グルーピングやまとめを記入してください。

③発表

○作業シートをホワイトボードに掲出し、発表者が説明してください。

○ほかのグループの発表の際に質疑者が質問をしてください。

(3) 事業者からの意見の共有（気づきの共有）

事業者からの意見について意見交換を行い、感じたことを共有しましょう。

項 目	「なるほど」と思ったこと	「課題だな」と思ったこと
立地や周辺環境		
建物や敷地		
民間利用の 可能性・条件		

(4) 地域の賑わい創出に向けた利活用の目的

第1回ワークショップやヒアリングの結果から、地域の賑わい創出に向けて考えられる目的について、優先度とその理由を考えましょう。

目 的	優先度 ◎○△×	理 由
子育て・教育		
福祉		
防災・地域		
歴史・文化		
観光		
商業・経済活動		
その他 〔 〕		

※その他の場合〔 〕に目的を記入

◎→最も優先度が高い
○→比較的優先度が高い
△→あまり優先度が高くない
×→優先度が高くない

(5) 販わい創出に向けた利活用のアイデア

「(4) 地域の販わい創出に向けた利活用の目的」で設定した、優先度の高い3つの目的について、利活用のアイデアを具体化しましょう。

目 的	販わい創出に向けた利活用のアイデア

(6) 利活用の目的とアイデアのまとめ

利活用の目的とアイデアについてまとめましょう。

○私たちは、瓜連支所の利活用の目的として優先度が高いと考えたものは

(4) シートから記入【 】で、その理由は、

(4) シートから記入【 】です。

(5) アイデアを記入【 】として利用することにより、販わいづくりにつながることを期待されたと考えました。

○逆に優先度が低いと考えた目的は

(4) シートから記入【 】です。その理由は、

(4) シートから記入【 】と考えています。